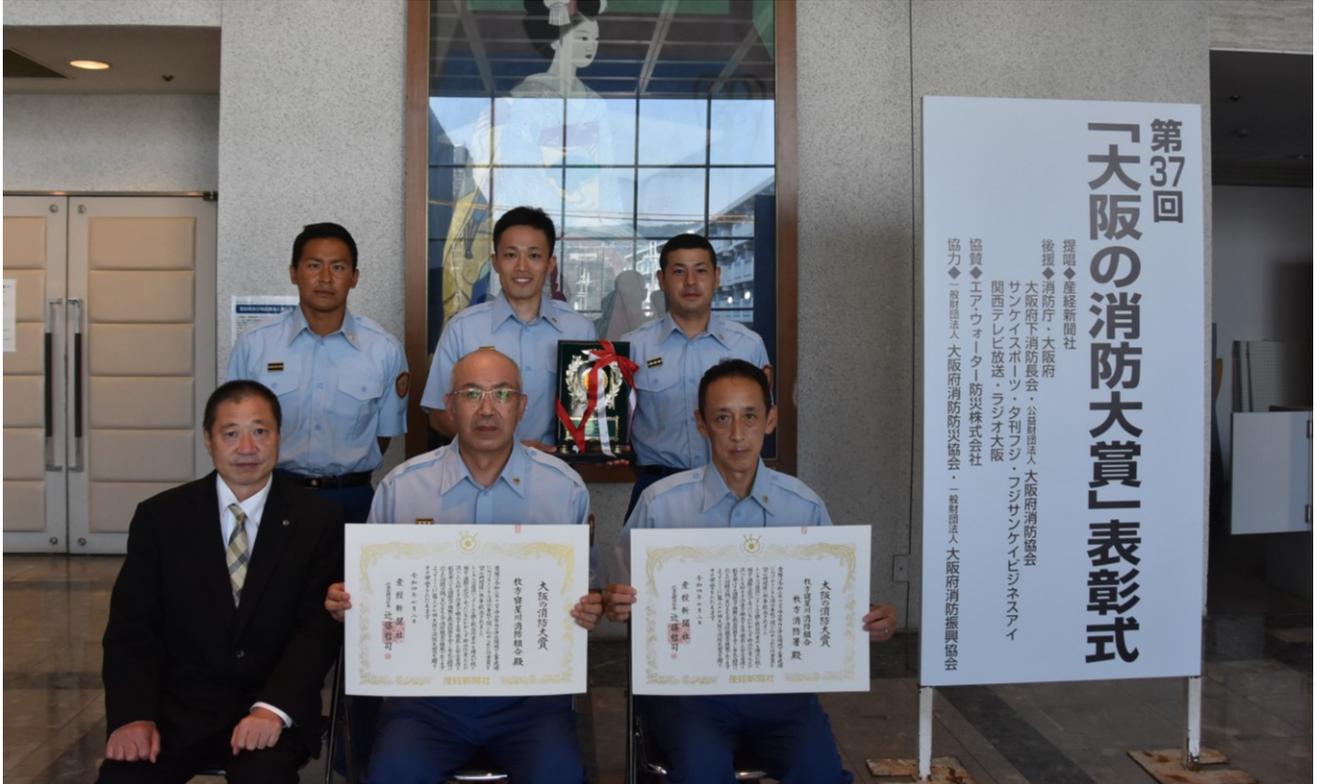


特集記事②

第 37 回 「大阪の消防大賞」 表彰式



人材マネジメント課

7月2日（土）、大東市立総合文化センターにて第37回「大阪の消防大賞」表彰式が執り行われました。

今回は、消防職員の部で1個人3団体、消防団員の部は1個人2団体の計2個人5団体が栄えある大賞に選ばれ、本消防組合と守口市門真市消防組合が対応した救出事案が「消防職員の部」で受賞しました。

1 事案概要

- (1) 発生日時
令和3年12月16日（木）10時30分頃
- (2) 発生場所
守口市佐太中町2丁目33番91号
大庭浄水場
- (3) 概要
水道管理設作業のために、深さ30m、横坑

約900m付近でシールドマシンを掘進中、水及び土砂が流れ込み、作業員1人がトンネル内に閉じ込められました。

作業員救出の障害となっているトンネル内の水を排水するために、守口市門真市消防組合から出動要請があり、本消防組合の保有する遠距離大量送排水車と職員を現地に派遣し、排水作業を実施しました。



作業員は、事故発生から約 47 時間後に救出されました。

2 大阪府下広域ブロック内応援の要請について

(1) 要請日時

令和 3 年 12 月 16 日 (木) 13 時 25 分

(2) 要請内容

地下 30m の立坑内に 120 c m ほど水が溜まり、救助活動を行うためには排水をする必要があるため、吸水能力が高い大量送排水システム (ハイドロサブシステム) を保有する部隊の出動を要請されたもの。



3 派遣人員及び車両

(1) 人員 28 人

ア 第 1 次派遣隊 7 人 (令和 3 年 12 月 16 日 13 時 34 分～21 時 36 分)

イ 第 2 次派遣隊 8 人 (令和 3 年 12 月 16 日 19 時 20 分～11 時 30 分)

ウ 第 3 次派遣隊 7 人 (令和 3 年 12 月 17 日

8 時 45 分～20 時 40 分)

エ 第 4 次派遣隊 6 人 (令和 3 年 12 月 17 日 17 時 55 分～18 日 00 時 45 分)

(内訳)

総務部 1 人、警防部 13 人、枚方消防署 4 人、枚方東消防署 7 人、寝屋川消防署 3 人

(2) 車両 3 台

指揮支援車 1 台

特殊災害対応車 1 台

タンク車 1 台

(3) 主な活動

ハイドロサブシステムによる排水 (時系列参照)



4 ハイドロサブシステム装備車両

ハイドロサブシステムは大量の水を必要とする火災に対処するために、河川等の自然水利から災害現場付近に大量に送水し消火用水を確保することができます。

一方、近年頻発している集中豪雨等で洪水、増水等による水没箇所においては大量排水が可能です。

本消防組合では、各種災害時の大量送水、大量排水などに活躍するハイドロサブシステムを装備する車両を各署に 1 台ずつ配備しています。

【特殊災害対応車(枚方消防署本署)】



【大量送排水システム車(枚方東消防署北山出張所・寝屋川消防署本署)】



【ハイドロサブシステム】



大量送排水コンテナ

- ・大量送水ポンプ
- ・150mm ホース展長・回収装置
- ・各種資機材収納庫

大量送水ポンプ (ハイドロサブ HS60)

- ・最大垂直揚程：30m
- ・最大吐出量：4,500 リットル/分



150mm ホース収納庫
(150mm ホース 1 km 分積載可能)

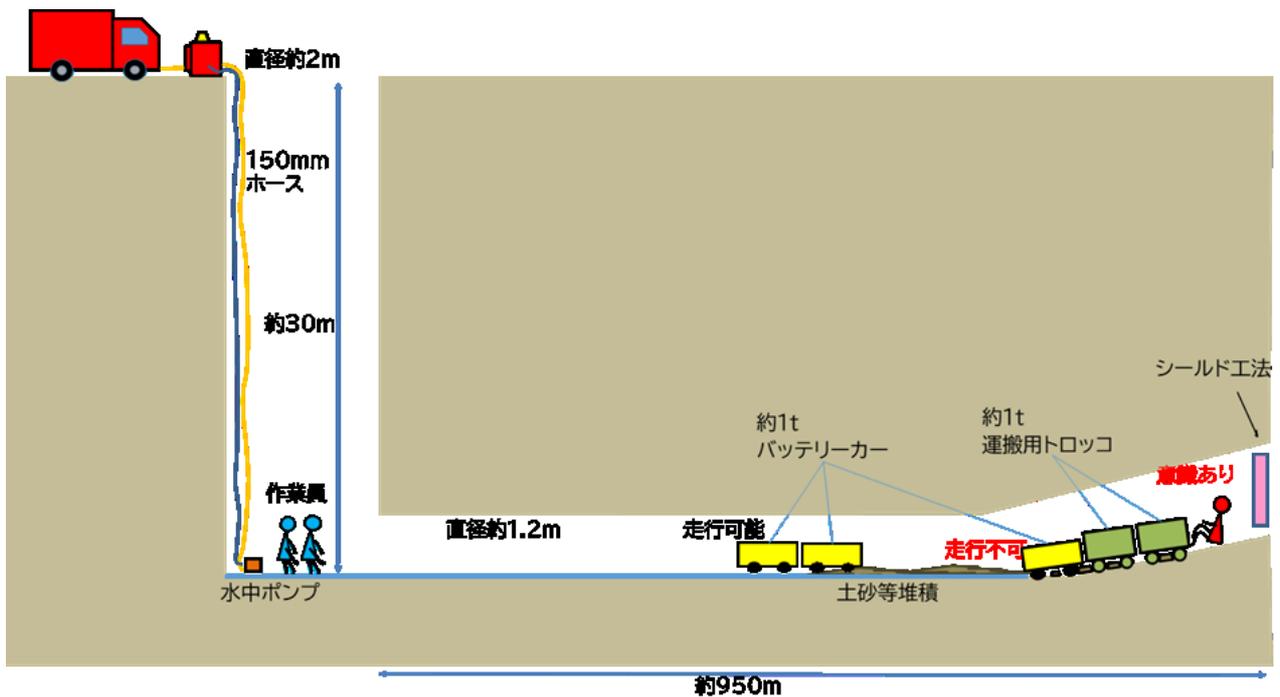


油圧駆動による水中ポンプ (50kg) に 150mm を
ホース装着した状態

5 時系列

令和3年12月16日(木)

- 14時05分 ハイドロ設定活動開始
- 14時25分 ハイドロのポンプ入水完了
- 14時45分 150mmホース固定完了
- 14時50分 ハイドロによる排水活動開始
- 15時30分 排水活動開始40分後、胸の上ぐらいまであった水位が、膝の高さまで下がる。
- 19時05分 横坑入口から約850m地点で、要救助者応答有り
- 22時15分 土砂排出作業を行いつつ、入口から900mまで到達
- 23時52分 土砂等の隙間から要救助者が見えている状態。左側臥位。少し土砂の中に埋まっている。



令和3年12月17日(金)

- 05時30分 横坑の入口から900mの地点で電動トロッキと搬出用のトロッキがあり、その20m先に要救助者が視認できる。
- 05時48分 要救助者の反応ありを確認
- 22時00分 漏水の停止を確認

令和3年12月18日(土)

- 01時08分 全派遣隊員帰庁、派遣終了
- 08時20分 守口市門真市消防組合から要救助者救出完了の連絡あり